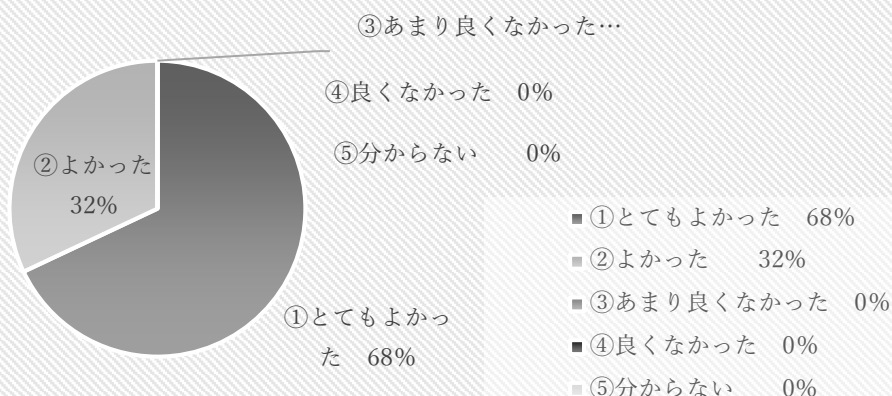


令和4年度第3回特別支援学習会感想アンケート

幼児教育センター

1 今回の特別支援学習会は、 いかがでしたか？



【 感想抜粋 】

- サポートファイルの活用のため、どのようなことに観点を置き記入するのか、閑念先生に具体的にお話いただき、学びが深まった。
- 学校をこえてサポートファイルの事を考えられて良かったです。閑念先生のお話も改めて、考え直すきっかけになって良かったです。
- 園と学校での接続部分に必要なことが話し合えた。グループ演習で、サポートファイル作りをする際、小学校・中学校の支援の先生も一緒だったので、どういう情報を求められているのか、考えられて良かった。
- 幼児期の子どもの様子を記録しておくことがすごく大事だと思いました。グループワークでも、どのような視点で考えないといけないのか学ぶ事ができました。
- サポートファイル記入について、どう書けば良いのかと悩む事が多いですが、グループで話し合いながらだと書きやすかったです。園に帰り、クラスの職員とも話し合いながら作成を進めたいと思います。
- サポートファイルの書き方、合理的配慮、自立活動等、改めて良く考えることができた。幼・保、福祉の方々とも繋がることができ良かったです。
- 合理的配慮の相談は、本人と保護者が同意し成り立つのだと分かった。
- 配慮の基準は変わっていくので、現在の基準が分かり良かったです。
- 園の先生と一緒に具体的なケースについて考える貴重な機会でした。グループ協議をすることで、小・中学校の先生方がサポートファイルでどのようなところが知りたいのか、支援に繋がるのかを話すことができ、今後サポートファイル記入する時のポイントとなり良い時間となりました。
- 今の合理的配慮が続くわけではなく、状況に応じて変えたり考えたりしていけばよいこと。サポートファイルの記入では、合理的配慮についての理解が深まった。合理的配慮の記入例の参考実践データベースも知ることができて良かった。
- サポートファイルのメリットの1つとして「本人の自己理解」があることを初めて知りました。本人の願いを記入するとき以外は、ファイルを目にすることもありません。家庭によっては、一時持ち帰られた際に子どもと一緒に見られているかもしれませんが、学校で振り返り自己理解を深めるために使用する方法もあると知り、勉強になりました。
- インクル DB は利用してみたいと思いました。子ども達の困り感は多様なので、支援に役立つ事例があれば嬉しいです。
- やはりチームで頭を寄せ合うことで「この子」についての理解が深まると思います。次へ繋げるための引継ぎについて話し合えて良かったです。